

くるみん認定通知書交付式を開催しました

(株式会社 旭技研コンサルタント様)



株式会社 旭技研コンサルタント 様

熊本労働局（局長 金成真一）は、次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と家庭の両立支援の取組が優秀な法人として、株式会社旭技研コンサルタント をくるみん認定し、令和7年4月22日にくるみん認定交付式を開催しました。株式会社旭技研コンサルタント 技術部長 堤田敏久 様が出席され、労働局長から認定通知書を交付しました。令和6年度第5号のくるみん認定となり県内36社目の認定企業（法人）となりました。



金成労働局長（右）から認定通知書の交付を受けられる（株）旭技研コンサルタント 堤田部長 様



左から （株）旭技研コンサルタント 宮崎様、堤田部長、金成労働局長

Q1 仕事と子育ての両立の取組において、従業員の方の声をお聞かせください。
(残業時間が削減したことに対する育児中の社員の感想や両立支援にあたっての上司、同僚の声などをご回答いただければと思います。)

A (育児休業から復帰した女性社員の感想)

昨年に2度目の育児休業を取得しました。以前取得した際にはなかった育児休業についての規則や社内での対応体制が整備され、とても利用がしやすくなったと感じます。また、短時間勤務で復職したことにより、子どもたちとの時間も十分に確保でき、時間にも心にもゆとりをもって仕事に取り組んでいます。子どものことで突発的に休みを取らなければならないことも多いのですが、そういった点も含めて理解ある社風があり大変助かっています。

Q2 行動計画における仕事と子育ての両立支援や働き方の見直しの取組において、職場内でどのような影響がありましたか。

A 弊社は働き方の見直しとして、所定外労働時間の削減について特に力を入れて取り組みをし、行動計画策定前に比べおよそ30%の削減につながっています。また、水曜日のノー残業デーの取り組みに対しては、【交通渋滞】に対する意見が出てきていますので、今後は制度の見直し・改善に取り組んでいきたいと思います。行動計画では年次有給休暇取得率の向上を目指しましたが、社員の意識は随分高まってきたように思います。

Q3 今後の子育て・次世代支援において会社で特に力を入れて取り組みたいことを教えてください。

A ここ数年で若手社員の雇用が充実し、活気のある職場になりました。今でこそ子育てを行う社員は若干名しかいませんが、今後すべての社員が気兼ねなく仕事と子育ての両立ができるよう、以下のような整備を行っていきたいと考えております。

- 残業時間削減への取り組み
- 育児休業取得促進の取り組み
- 育休取得者を支える周囲の社員に対する支援制度の整備